

千代田区 オリンピック・パラリンピック推進プロジェクト

東京2020大会を契機として、区のまちの魅力や風格を一層高めるための総合的な施策を推進した。①歴史・文化や都心の魅力があふれるまち、②誰にとっても居心地の良いまち、③大会の成功に向けて、の3つの重点目標などを掲げ、いくつかの取り組みは有益なレガシー[※]として継承していく。

※大会後も開催地が長期にわたり継承・享受できる社会的・経済的な恩恵

全74の取り組みは
こちらから



●共生社会

サインの整備、多言語対応

公園のサインなど区内の公共サインを見やすく、景観にも配慮した統一感のあるデザインに更新。また、区内の回遊をサポートするガイドマップなどを多言語対応し、外国人にも配慮した取り組みを進めた。



多言語化された路上喫煙禁止サイン

障害者への合理的配慮の推進

敬老会やスポーツイベントなど区が主催する行事に手話通訳者を派遣、また区民向けに手話などの通訳者・要約筆記・支援者などを派遣し、障害者との意思疎通を支援した。



イベントでの手話通訳の様子

●スポーツ

障害者(パラ)スポーツの普及・啓発

障害者(パラ)スポーツ競技の体験会や東京2020パラリンピック競技大会のパネル展示、競技用車いすの展示・試乗などを通して、障害者への理解向上や障害者(パラ)スポーツの推進を促した。



ボッチャの体験

●まちづくり



九段坂公園

競技会場(日本武道館)周辺の整備

九段坂公園、代官町通り、千鳥ヶ淵緑道サインなどの整備を行った。この地域の豊かな自然環境、時代を重ねた景観、潤いある水辺空間をレガシーとして継承し、区民や来街者を迎える。



公衆・公園トイレ整備

周辺地域のまちづくりや施設の老朽化を考慮しながら、公衆・公園トイレのリフレッシュ工事を行い、多機能トイレを含む全32カ所の公衆・公園トイレをリニューアルした。



一ツ橋公衆トイレ

熱中症対策

大会が夏季の開催となることから、熱中症対策として区内の公園など全6カ所にドライ型ミストを設置。また、休憩や水分補給ができる「ひと涼みスポット」を区内各所に設置した。



千鳥ヶ淵緑道

Wi-Fi環境の整備

公衆無線LANサービス「CHIYODA Free Wi-Fi」を提供し、主要駅周辺や観光スポットなど全51カ所でFree Wi-Fiを使用可能にした。



CHIYODA Free Wi-Fi
エリアサイン

